

5. 日本の中の韓国、韓国の中の日本を紹介しよう

全体の流れ

**準備** 活動の説明をする（10分）

日本の中の韓国、韓国の中の日本にはどんなものがあるかブレインストーミングする（20分）

実物や写真の説明文を作成する（45分）

**交流学習事例** 発信・受信) Skypeを使って、日本の中の韓国や韓国の中の日本を紹介し合う（45分）

**役に立つ表現**

- ・よく見ます                      자주 봅니다 / 많이 봅니다
- ・よく聞きます                  자주 듣습니다 / 많이 듣습니다
- ・よく食べます                  자주 먹습니다 / 많이 먹습니다
- ・よく買います                  자주 삽니다 / 많이 삽니다
- ・とても関心があります        아주 관심이 있습니다

**ことば**

- ・食品                              식품
- ・雑誌                               잡지
- ・映画                               영화
- ・店の看板                        가게 간판
- ・～で（買います）              ～에서
- ・～に（あります）              ～에
- ・少し                                조금
- ・ときどき                         가끔

パワーポイント教材例（日本語クラス用）

パワーポイント教材例（韓国語クラス用）

テーマ	5. 日本の中の韓国、韓国の中の日本を紹介しよう
目標	・自分の身近にある韓国(日本)を取り上げ、自分との関わりについて紹介することができる ・相手の紹介を聞いて、日韓の経済的交流や人的交流について理解を深める。
形態	対面
教具・教材	PC(Webカメラ)、マイク、紹介する実物や写真
生徒が行う活動	1) 準備 ①自分の身近にある日本や韓国にはどんなものがあるかをブレインストーミングする。 ②リストアップした中から紹介するものを1つ選び、自分との関わりも交えて紹介文を作る。 ③クラス内で紹介のリハーサルをする。 ④紹介するものの実物や写真を準備する(宿題)。
参照プリント	
<u>韓国語クラス</u>	
<u>日本語クラス</u>	

	<p>2) Skypeを使った紹介</p> <p>①Skypeを起動し、Webカメラを通して日本の生徒は「日本の中の韓国」、韓国の生徒は「韓国の中の日本」について紹介する。</p> <p>②相手の生徒に聞いてみたいことを学習言語や母語で質問する(必要に応じて教師が通訳する)</p> <p>3) 振り返り</p> <p>①紹介してもらったものにはどのようなものがあったかをチェックする。</p> <p>②気がついたこととしてメモしていたことを発表する。</p>
ポイント	日韓の経済的・人的交流の現状はどうなっているか、身近な例をもとに考えるよう促す。学習言語での表現が難しい部分は母語で話してもよい。
バリエーション	パワーポイント、紙など媒体を変えて行うこともできる。 身近に日本人や韓国人が住んでいる地域があれば、実際に行ってみて紹介の材料にするのも良い。

## 生徒の反応



韓国にも同じものがあるんだ!



韓国にはレトルトの「チャブチェ」はないよ。



探してみると、身の回りにはたくさんの「韓国」や「日本」があるということに改めて気がつく機会になったようだ。似た食品が韓国と日本の両方にあったり、韓国の食品が日本風にアレンジされて売っていたりする。食べ物だけでなく、互いの大衆文化がメディアに取り入れられることは珍しくなくなった。Skype交流は実際にそのものを見せて紹介できる点が最大のメリットだ。Skype交流が終わって、生徒が「疲れた～」と語った。Webカメラを通して、相手に一生懸命伝えようと必死だった生徒。その気持ちは十分に伝わったに違いない。

## 日韓比較ミニコーナー

日韓の外食文化